

最新トレンドから高級品まで・・・ 「いま仕入れたい」注目商品など60万点！

来る2016年5月11日(水)から13日(金)までの3日間、神戸にて開催される、西日本最大の宝飾展「第20回 神戸国際宝飾展(IJK2016)」。昨年と比べ出展が80社増加し、更に多様な商品が集まるほか、開催20周年を記念した特別講演【無料】も実施されるなど、ますます見どころの多い展示会となっている。

この夏見逃せないトレンドは 『ロマンティック』『70年代』『リゾート』

いまやジュエリーは「ファッション」の一部として取り入れる時代。ファッション業界での2016年春夏の流行が、ジュエリー業界の流行にもなる。今年は何んといっても『70年代』風ファッションのリバイバルに注目が集まる。フォークロアやボヘミアン、ヒッピーなど、1970年代に大流行した、民族衣装を彷彿させる独特のスタイルや、サイケデリックなポップ感などが、「レトロ可愛い」として再ブームを起こしており、ジュエリーにもフリンジやレトロな色使い、ドット風の模様など、当時のテイストを反映したデザインが次々と登場している。また、春夏の柔らかく明るい色合いのファッションに合う、レースのように繊細なジュエリー、花やハートモチーフの愛らしいジュエリーなどの『ロマンティック』テイストや、夏のビーチを思わせる爽やかなブルーやクリア素材、マリンモチーフなどの『リゾート』テイストも、この時期、今すぐ売れるアイテムとして注目したいところだ。

70年代



フォークロア調の配色とじゃらっと感がレトロ可愛い。
(足達商会)

ロマンティック



ぷっくりハート形のパールに、桜の花を添えたキュートなデザイン。
(スズキ工芸)

リゾート



ローマングラスの神秘的なブルーが涼しげなネックレス
(Gardex International Ltd.)

70年代



大振りなピアスは、本物の植物を閉じ込めた一点もの。
(エオニア)

ロマンティック



レースのような繊細さと、18Kのきらめきが思いきりフェミニン！
(アプローズ)

リゾート



ヒトデみたいな星形カメオなら、POPもクラシカルも手に入る。
(ガロファロ・カメイ)

ラグジュアリー商品から メイドインジャパンまで・・・ 宝飾展ならではのクオリティが見つかる

普段使いしやすいトレンド商品がよく売れる、といっても、宝飾品といえばやはりラグジュアリー商品は外せない。

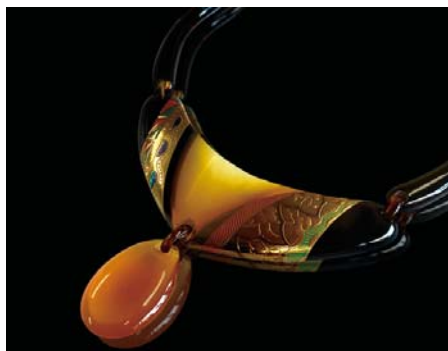
カラット数、輝きの強さ・・・すべてが超一級の宝飾品が揃うのは、宝飾展ならではの醍醐味だろう。身に着ける装飾品としてはもちろん、資産価値としても需要がある商品は、新規顧客開拓にもうってつけである。

そしてもう一つ、外せないのが『メイドインジャパン』クオリティだ。昨今、海外バイヤーのジュエリー購買が話題であるが、そもそも彼らがなぜ、そんなにも日本のジュエリーを欲しがるかという、理由の第1はその品質の高さに他ならない。そしてその『メイドインジャパン』クオリティは、海外だけでなく、今また日本国内でも、新たにその価値が見直されている。

真珠やサンゴなど、日本産素材そのものの品質はもちろんだが、特に注目したいのはカットや研磨、繊細なデザインなどの加工技術の高さである。たとえば「甲州貴石切子(シミズ貴石)」は山梨県が誇る二人の伝統工芸士によって貴石にカットや研磨を施された、贅沢な一品。また「華真珠(小松ダイヤモンド工業所)」は、世界で初めてのカット真珠。真珠の新しい美しさを引き出したとして高く評価されている。また和紙のテクスチャーを活かしたものや、蒔絵を施したものなど、和の美を追求したジュエリーにはオリエンタルな魅力があり、外国人顧客にも人気が出そうだ。その他にも丁寧さを活かした繊細なデザインなど、IJKには日本の「匠」の技が活かされたジュエリーが多数出品される。



最高水準、GIA 鑑定書付のダイヤモンドは、投資目的の需要も高い。
(有沢産業)



熟練のべっこう作家と蒔絵工芸士がコラボした最高の一品！
(リベラ商会)



運命の赤い糸を閉じ込めたブライダルリングは、伝統工芸技術の賜物。
(ラグレーヌ / jewel terra)

こんなものも仕入れられる？ 『催事企画』

本展で仕入れられるのは、「製品」だけではないというをご存知だろうか？

小売店の顧客獲得、確保に欠かせない、魅力的な催事を提案してくれる企業が多数出展しているのだ。

男性顧客を発掘できそうな『ファッションの聖地イタリアのメンズジュエリー』フェア(GS CORPORATION)、女性顧客が喜びそうな、『オリジナルプレスレットを作ってみませんか？』という企画(ザーラコーポレーション)から、誰もが思わず足を止めたくなる『世界のジュエリー博覧会』(アイランド・ジェム)まで、店舗活性化につながる催事をIJKで発注できる。

ぜひ色々な催事を比較検討して、自社店舗にぴったりの企画を見つけてほしい。

事務局では上記にあげた「70年代」「リゾート」「ロマンティック」「ラグジュアリー」「日本の『匠』の技」「催事企画」をテーマにした出展商品の特集ページを公式ホームページ(www.ijk-fair.jp)に特設している。

来場前に是非、チェックしておきたい。

ジュエリービジネスで 次の成功を掴みたいなら必聴！ IJK20周年 特別講演を開催

IJK20周年を記念して開催される特別講演【聴講無料・事前申込制】は、これからのジュエリービジネスの鍵となる「国内市場」「中国市場」「宝石の価値のはかり方」という3大ポイントを学べる貴重な機会となる。

これほどの価値のあるセミナーが全て無料で聴講できるのはめったにない機会。すぐに満席になることが予想されるため、早めの申込みがおすすだ。聴講の申し込みはホームページ(www.ijk-fair.jp)から。

◆ 講演プログラム [講演の詳細・聴講のお申込みはホームページ\(www.ijk-fair.jp\)へ](http://www.ijk-fair.jp)

K-1

5月11日(水) 13:00~14:30

持続的な成長を続けるイノベーションとは？



【94店舗】日本最大級の宝飾チェーン店
(株)サダマツ 代表取締役社長
貞松 隆弥 氏



【137店舗】日本最大の天然石小売
(株)ストーンマーケット 代表取締役社長
中村 泰二郎 氏

講演内容

『資産価値(モノ)』から『精神価値(コト)』の時代へー

夢を叶える2つの星のダイヤモンド「Wish upon a star」を大ヒットさせたサダマツと、日本のパワーストーン市場を一気に拡大したストーンマーケット。2社に共通する成功の秘訣は、「時代背景を味方にしたマーケティング」であった。業界のイノベーター2人が、それぞれのビジネス戦略を語り、これからのジュエリービジネスについて討論する。ジュエリー業界の明日を担う若手や新規参入者、ファッション業界の方は必聴の、成功するビジネスパーソンの「考え方」を学べるセミナー。

K-2

5月12日(木) 13:00~14:30

今後10年の中国ジュエリー市場の展望



中国・深センで有力な高級ジュエリー卸
TTF 代表取締役社長
フランク・ウ 氏



中国全土で最も影響力のある宝飾Webサイト
21Gem 最高執行責任者
アニー・ファン 氏

講演内容

<TTF/フランク・ウ 氏『中国ラグジュアリー市場の動向』>

中国高級ジュエリーのパイオニアであるTTF。
そのブランド立ち上げの発展過程と成功体験をもとに、中国の高級ジュエリーマーケットについての
現状分析と解釈、今後のラグジュアリー市場の発展トレンドに対する展望を語る。

<21Gem/アニー・ファン 氏『まだまだ伸びる！中国の輸入市場』>

中国ジュエリーマーケットの転換期である今、注目されている輸出入に関するジュエリー類の関税、消費税に関わる
手続きなどについて最新の情報を解説する。また、中国の輸入市場の可能性を、今後の市場発展トレンドと
中国国内政策の変動に基づき考察する。

K-3

5月13日(金) 13:00~14:30

ジュエリーの価値のつき方を考える～品質鑑定を実践～



(一社)日本リ・ジュエリー協議会
諏訪貿易(株) 会長
諏訪 恭一 氏

講演内容

いま多くの人が、自分のジュエリーの価値を知りたいと思われているのではないのでしょうか。
料理の味は、食材、レシピ、調理方法で決まります。ジュエリーの善し悪しは、宝石、構想、仕立てで決まるはずですが、
品質の異なる10点あまりのジュエリーを教材にし、いろいろな角度からの写真を使って、具体的にその善し悪しを
判定します。そして、宝石の傷み具合や人気度が考慮されたうえで価値がついていることを確かめます。
宝石の品質判定や、その時代背景などを知っていただくために、拙著『価値がわかる 宝石図鑑』※(ナツメ社刊)を
説明に使用する予定です。本書をお持ちの方は、どうぞご持参ください。
(※ 撮り下ろし写真と解説で宝石に関する情報を網羅した新刊です。当日の会場でも若干数を販売する予定です)

利益につながる商品と、これからにつながる最新の知識が仕入れられる今回の IJK。仕入れ担当はもちろん、新入社員など若
手社員も連れて来場したい展示会だ。

(プレス向け問合せ先) 国際宝飾展事務局 広報担当：川野 TEL:03-3349-8503 E-mail: kawanon@reedexpo.co.jp